

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

0. 計画策定の趣旨

本町で平成29年3月に策定した吉岡町公共施設等総合管理計画で対象となっている船尾自然公園に関して、本計画はその個別施設計画として位置づけられたものとなっている。

1. 施設概要

□施設設置の背景と歴史 平成3年度2月にふるさと創生事業を活用した「船尾滝周辺整備事業基本計画」で構想され、それ以降から、林道・治山・土地改良等の群馬県等の各種補助事業と吉岡町の地方単独事業で、施設が整備及び維持管理されている。

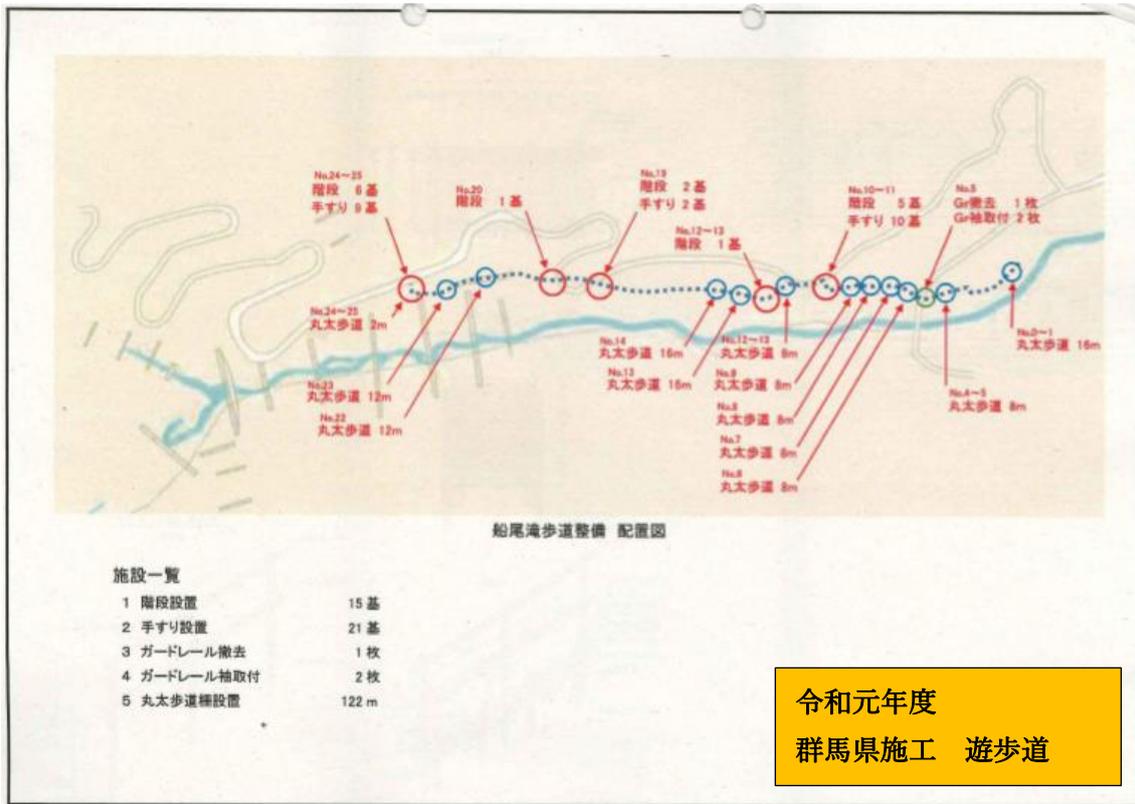
「船尾滝周辺整備事業基本計画」は、バブル景気に重なり、構想のみのキャンプ場・養魚施設・スポーツ施設などを含め、直接工事費で、総額8億3千万円の費用を要した、当時の世相を鑑みた積極的なものとなっている。前橋市・渋川市の都市圏域に吉岡町が含まれ、都市化・市街地化が進行するなかで、**自然ゆたかで快適な環境づくりや町内外観光客を誘致する、観光資源化を目的**に策定された。

(図4-3 船尾滝周辺地域・整備構想図)

令和2年までの過去5年間の補修実績は、平成28年の大雨の被災対応のため、林道水沢上野原線の一部を令和2年4月まで閉鎖した。そして、令和元年度に、土砂災害が発生しても船尾滝まで行ける回路として機能する遊歩道と、木橋・木柵の補修と案内板の新設、水沢上野原線の土砂履き・法面ロックネットの補修をした。



吉岡町船尾自然公園個別施設計画



令和元年度
群馬県施工 遊歩道



令和元年度
群馬県施工 遊歩道の階段

平成 28 年度～令和元年度
施工 群馬県 治山工事



令和元年度
吉岡町施工 遊歩道の指導標識



令和元年度
吉岡町施工 遊歩道の案内板



吉岡町船尾自然公園個別施設計画

□年間利用の人数と頭数の推測 約 38,000 人※うち犬 75 頭を含む

※公園管理用のトレイルカメラを活用し、1日の利用者を集計した。

土日祝日 9月20日(日) 気温 18°C 晴れ 120人(うち 犬2頭を含む)

平日 6月9日(火) 気温 29°C 晴れ 97人◆

120人(頭) × 120日 + 97人 × 245日 = 38,165人 犬2頭 × 120日 = 240頭

高齢者や家族づれ、カップルなどまで幅広い年齢層の利用が確認できる。

■バーベキュー広場の令和元年度の利用申請状況

・土日祝日 83日 130組 1,557人

・平日 25日 88組 441人 申請があった部分で年2,000人くらい

■車の駐車台数に換算 年約 4,700 台

38,000人 ÷ 8人(マイクログの駐車も確認しているため) = 4,750台 ≒ 4,700台

◆令和2年度は、コロナウィルスの影響による外出自粛要請もあり、伊香保近辺の近場の景勝地として、例年よりも利用者が多いと推測される。

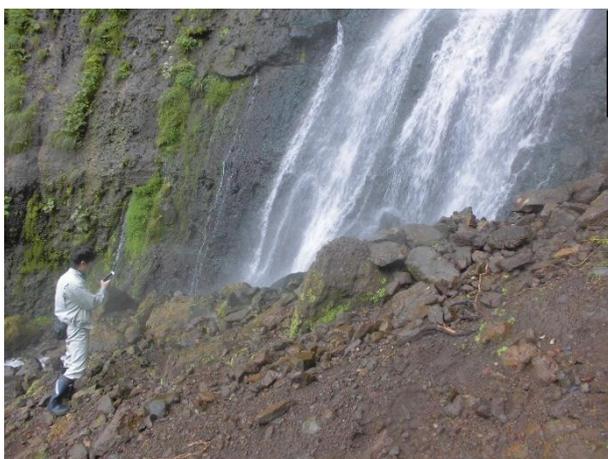


□船尾滝の景勝 令和元年に台風や大雨のため、船尾滝の法面が崩落して、船尾滝が変形した。崩れやすい地盤のため、滝壺には、岩石が堆積している。滝壺に近づくのは、非常に危険であり、立入禁止とする判断は妥当である。また、滝壺までの遊歩道整備は、雄大な景勝を堪能でき非常に魅力的であるが、困難な工事による膨大な予算を必要とし、土砂災害などが起こりやすく、維持管理も困難なため、現実的ではない。

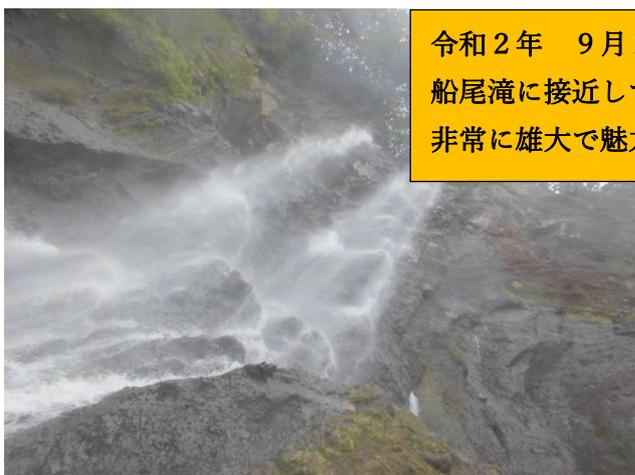


令和2年 10月7日
土砂崩落が起きている

吉岡町船尾自然公園個別施設計画



令和 2 年 9 月 2 4 日
撮影 船尾滝に接近



令和 2 年 9 月 2 4 日
船尾滝に接近して撮影
非常に雄大で魅力的

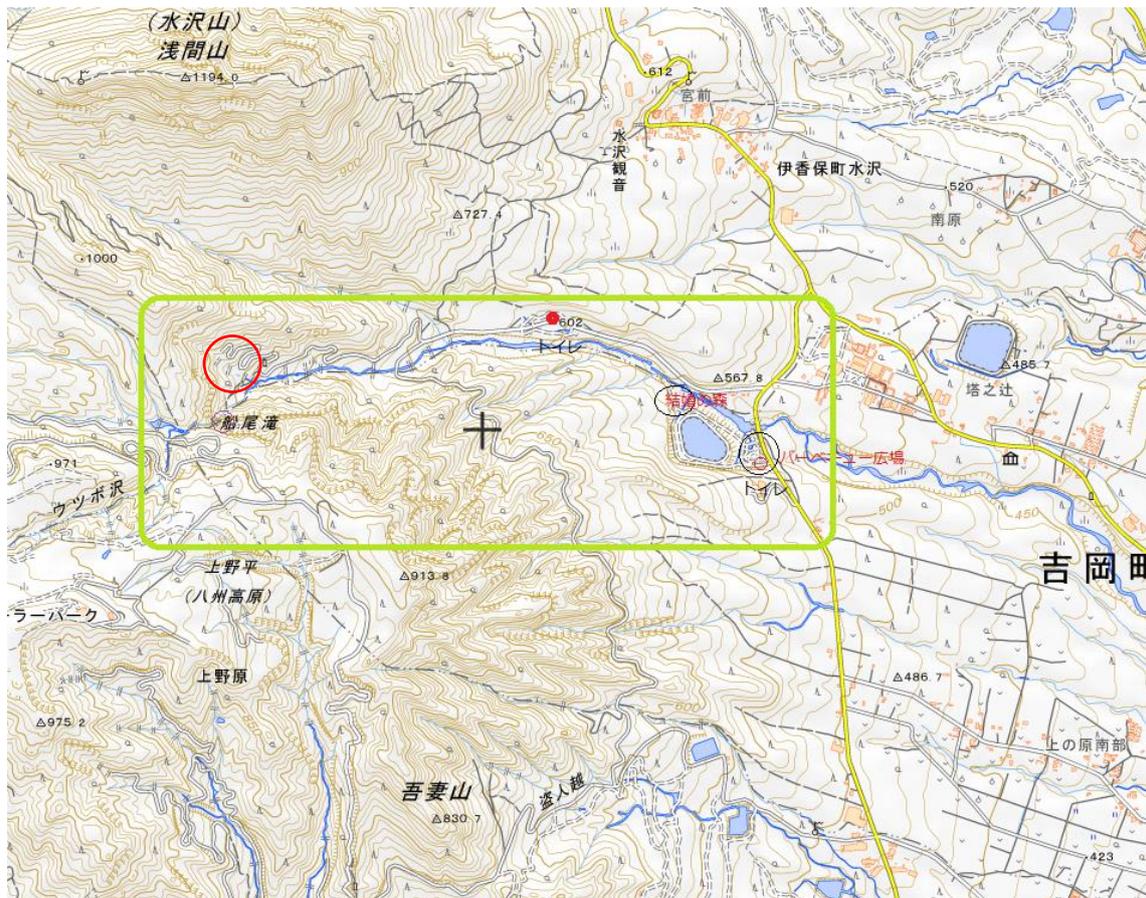


吉岡町船尾自然公園個別施設計画

令和2年 9月24日
滝の上部から崩落した岩石や
土砂が堆積している。
滝壺は存在しない。



非常に壮大で魅力的であるが、安全性や、大雨のたびに修繕する必要となるので、維持管理を考慮すると立入禁止としている。



吉岡町船尾自然公園個別施設計画

分類	名称	公園面積	設置開始年度 (予想)	備考
公園	船尾自然公園 (広場、結婚の森)	約 34.65ha (治山法面・ 林道を含む)	平成3年度～ ※船尾滝周辺整 備事業基本計画 の策定年度	保安林※ 民有地※が含まれる。 ※遊休化した施設・設 備が多数あり

※設置から約30年経過しており、トイレなど木造施設の大規模な修繕が必要となる

※保安林は、群馬県から①立木の伐採②土地の形質の変更など③植栽の義務の行為制限を受ける林地

※公園内に吉岡町所有ではない、私有地がある。

※トイレ・カーブミラー・道路標識・結婚の森の鐘・おんべこおり橋(吊り橋)・バーベキュー広場の水車小屋など施設が老朽化し、機能せず危険なものがあり、撤去及び改修には莫大な予算を要する。主な遊休施設と不明施設5か所を掲載する。



吉岡町船尾自然公園個別施設計画



1 おんべこおり橋と周辺 ★危険！

吊り橋の撤去または修復には多額の予算を要すると推測される。修復する場合は、柵と遊歩道の整備工事も必要となる。※改修 600万円～300万円くらい 撤去（上部の木製部分のみ）50万円くらい

※現時点では、大変危険なので立入禁止とし、侵入しないよう撤去を検討している。



2 電気関係施設？ ★不明施設

入口に草が生い茂っており、使用したことがない。鍵も所在も不明。電気関係施設と思われる。



3 トイレ施設？ ★遊休施設

入口に草が生い茂っており、使用したことがない。鍵も所在も不明。形状からトイレ関係施設と思われる。

吉岡町船尾自然公園個別施設計画



4 水車小屋と導水橋 ★危険!

貯水池の水を使って水車を回転させていたらしいが、貯水量がなくなってしまうため水車を撤去した施設。木製の水道橋が倒壊しそうで危険である。



5 機能していないカーブミラー等 ★遊休施設

旧林道 水沢上野原線用に設置された施設。このほかに3基ほどある。

2. 施設補修工事と運営費の現状

施設補修工事について、林道部分や法面のがけ崩れなど大規模な補修工事が必要な場合は、群馬県の林道・治山の補助事業で対応し、小規模な修繕工事は、吉岡町の小規模事業者
に補修を依頼している。

トイレと周辺の清掃及びバーベキュー広場の管理受付は、吉岡町シルバー人材センター
に業務委託している。浄化槽の維持管理は、北群馬衛生社に業務委託している。

運営費※のみは、今後の最低賃金の引き上げ等を考慮し、概算で、年間約 270 万円※の
費用で、シルバー人材センターに対する人件費となる。

※施設清掃とトイレの維持管理(水道高熱費を含む)

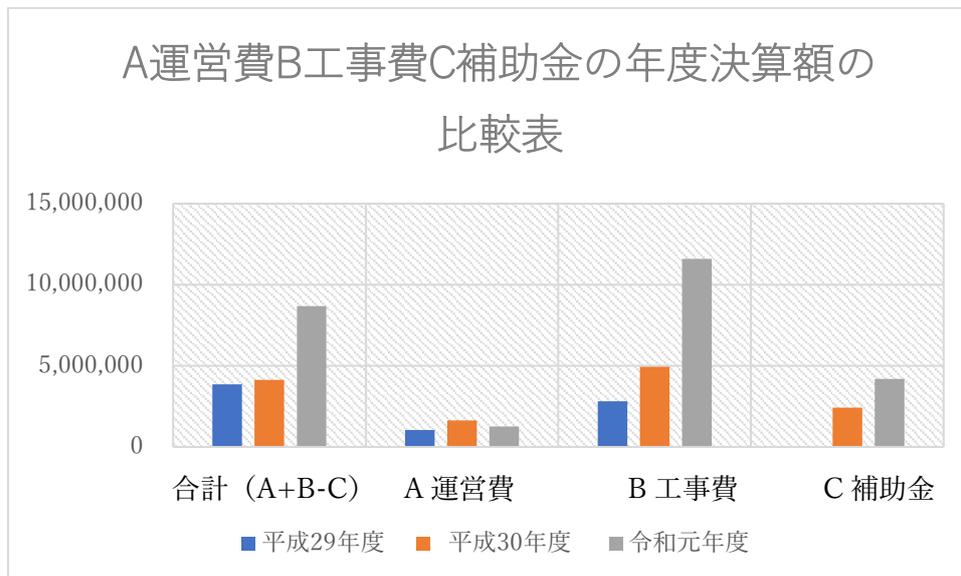
平成 29 年度～令和元年度までの施設補修工事と運営費

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
合計 (A+B-C)	3,851,396 円	4,139,061 円	8,682,425 円
A 運営費	1,039,996 円	1,625,469 円	1,270,376 円
B 工事費	2,811,400 円	4,943,592 円	11,602,049 円
C 補助金	-円	2,430,000 円	4,190,000 円

◎船尾自然公園トイレ・あじさい広場・船尾自然公園内の除草など業務委託は、財務課が担
当していたため、令和 2 年度予算から、産業観光課に予算・業務が移管され A **運営費**が
約 150 万円の増大する見込みである。さらに、バーベキュー広場の水道光熱費は、建設

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

課用地管理室が 30,453 円の負担している。



- ①令和元年度は、船尾滝リニューアルオープンに向けて、木橋・木柵の補修と案内板の新設、水沢上野原線の土砂履き・法面ロックネットの補修など、前年の倍以上の費用をかけた。
- ②A 運営費について、トイレが故障しない限り、概ね 150 万円以下で推移している。
- ③C 補助金について、群馬県単独林道補助事業【林道の改良に対する委託費・工事費の総費用の 1/2 の補助】と、群馬県観光施設補助事業の千客万来事業【観光施設の改修に対する委託費・工事費（県産木材の利用が必須）の総費用の 1/2 の補助】を活用した。※ ※県の制度改正により例年どおりとならず、交付対象外となる可能性がある。

■運営費と工事費の年度ごとの根拠

平成 2 9 年度 **合計 3,851,396 円**

A 運営費 **合計 1,039,996 円**

業務委託名	委託先	金額
バーベキュー広場浄化槽管理委託料	(有)北群馬衛生社	123,272 円
バーベキュー広場管理業務委託	(公)吉岡町シルバー人材センター	914,628 円
竹ぼうき購入(施設管理用)	(株)コメリ	696 円
水道開閉手数料	吉岡町水道課	1,400 円

B 工事費 **合計 2,811,400 円**

工事名・工事場所	施工会社など	金額
バーベキュー広場 立入防護柵改修工事	(株)原沢組	1,296,000 円
林道水沢上野原線 路肩補修工事	(株)勝野建設	19,400 円
群馬県治山事業負担金 (船尾滝前の治山工事)	群馬県	1,496,000 円

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

平成30年度 (A+B-C)合計 4,943,592 円 - 2,430,000 円(県補助金額) = 4,139,088 円

A 運営費 合計 1,625,496 円

業務委託名	委託先	金額
バーベキュー広場浄化槽管理委託料	(有)北群馬衛生社	123,272 円
バーベキュー広場管理業務委託	(公)吉岡町シルバー人材センター	926,640 円
バーベキュー広場トイレ水漏れ対応	中澤商事(株)	3,196 円
水道開閉手数料	吉岡町水道課	1,400 円
バーベキュー広場トイレ配管修理	中澤商事(株)	5,400 円
バーベキュー広場トイレ排水管修理	(有)北群馬衛生社	3,240 円
竹ぼうき購入(施設管理用)	コメリ(株)	748 円
林道水沢上野原線 測量・設計業務委託※	(財)森林・緑整備基金	561,600 円

※群馬県 県単林道補助事業 補助対象

B 工事費 合計 4,943,592 円

工事名・工事場所	施工会社など	金額
バーベキュー広場 立入防護柵撤去工事	(株)飯塚組	216,000 円
林道水沢上野原線 舗装改修工事※	(株)大井組	4,309,200 円
林道水沢上野原線 舗装道路陥没補修工事	(株)木之内設備	78,192 円
林道水沢上野原線 枝剪定・倒木処理	(株)勝野建設	43,200 円
林道水沢上野原線(治山施設) コルゲートフリューム管土砂撤去	(株)勝野建設	297,000 円

C 補助金 群馬県 県単林道補助事業 補助対象 補助金総額 2,430,000 円

令和元年度 (A+B-C)合計 11,602,049 円 - 4,190,000 円(県補助金額) = 8,682,425 円

A 運営費 合計 1,270,376 円

業務委託名	委託先	金額
バーベキュー広場浄化槽管理委託料	(有)北群馬衛生社	125,460 円
バーベキュー広場管理業務委託	(公)吉岡町シルバー人材センター	978,120 円
水道開閉手数料	吉岡町水道課	1,400 円
竹ぼうき購入(施設管理用)	コメリ(株)	396 円

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

林道水沢上野原線 設計・積算業務委託※	(財)森林・緑整備基金	165,000 円
------------------------	-------------	-----------

※群馬県 県単林道補助事業 補助対象

B 工事費 合計 11,602,049 円

工事名・工事場所	施工会社など	金額
バーベキュー広場 トイレ建具補修工事	神宮木材店	42,249 円
船尾滝周辺補修工事※ 木橋・木柵の改修・案内看板	(株)森喜建設	2,904,000 円
船尾滝東屋修繕工事	(有)黛塗装店	319,000 円
船尾滝東屋修繕追加工事	(有)黛塗装店	231,000 円
案内板設置工事	ナガタ工芸	88,000 円
警告看板設置工事	ナガタ工芸	63,800 円
ベンチ・テーブルの塗装	(有)黛塗装店	99,000 円
林道水沢上野原線改良工事 (土砂履き・ロックネット補修)※	(株)森喜建設	5,324,000 円
台風による倒木処理	(株)勝野建設	198,000 円
群馬県治山事業負担金 (船尾滝前の治山工事・船尾滝近辺の 森林の間伐)	群馬県	2,333,000 円

C 補助金 群馬県 県単林道補助事業 補助対象 補助金総額 4,190,000 円
 群馬県 千客万来事業 補助対象 補助金額 1,450,000 円
 群馬県 県単林道補助事業 補助対象 補助金額 2,740,000 円

3. 施設運営の今後について

土砂災害警戒区域に位置し、台風や大雨などの災害の被害を受けやすく、年間約 38,000 人の利用があり、年間約 270 万円の運営費を必要とする、自然公園の施設運営の今後の方針は、中長期的（～15 年ぐらい）な対応として①遊休化した施設を撤去しつつ現状維持する②利用者から利用料徴収し維持管理をする③公園としての施設を廃止することが考えられる。

ただし、①～③の対応する前の短期的な対応（～5 年）として、安全対策として老朽化して危険なおんべこおり橋と周辺と水車小屋の水道橋などの撤去と、できれば、施設入口にゲートを新設して、土砂災害の警戒のため、台風などが発生した際に閉鎖ができるようにしたい。

県産材を利用して、森林環境譲与税を財源※とした施設改修などが可能である。

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

※民有林の集積化と施業の実施の財源でもある。

①遊休化した施設を撤去しつつ現状維持する

現状に町で実施している施設維持管理をそのまま継続する。遊休化して、危険な施設を優先的に撤去し、公園施設の縮小を図る。また、入退出管理ができるゲートを導入すれば、運営費バーベキュー広場管理業務委託の見直しが可能となる。



■材料費のみで¥7,830,000円
のおしゃれなゲート

【高級両開き電動門扉】

②利用者から利用料金を徴収し維持管理をする

料金の徴収方法として、①駐車料金徴収が可能な入退出管理ができるゲートの設置である。②シルバー人材センターに料金徴収も業務委託する方法が考えられる。②は、人件費がかかり、かえって業務委託費が増大する可能性がある。

料金の設定としては、運営費の回収を目標とすると、 $2,700,000 \text{円} \div 4,700 \text{台} = 575 \text{円}$
≒500円となる。仮に駐車料金を500円とする。



■設置費用は概ね400万円くらい。
2箇所設置でバーベキュー広場にも設置し、安く見積もって、概ね1,000万円くらいと予想する。

【ゲート設置例】

ただし、料金を徴収する以上、それに相応しい施設整備が必須となり、①銀杏などの植樹②おんべこおり橋周辺の改修③バーベキュー施設の充実がある。または遊具をたてることなど、人件費が増加しない、無理のない堅実的な計画を立てる必要がある。

また、それまで、無料であったものに対して、料金を徴収するので、施設整備後に、来場者と駐車台数を分析し、価格設定し、広報後に料金徴収を実施したい。

有料化の参考に、入園料大人（中学生以下）1,000円、駐車場台数400台ある、赤城自然園の園内マップを掲載する。

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

園内現在地マップ(100%)



【赤城自然園の園内マップ】

③公園施設を廃止する

景気状況や、国などの財政状況が非常に不透明であり、吉岡町で施設運営費及び維持管理費の捻出ができなかった際の予想である。施設はすべて**林道**としての管理となり、トイレ及び紫陽花、施設の草刈りなどの公園管理を停止し、観光客と町民の利用を禁止する。運営費約 270 万円が吉岡町の一般財源に充てられる。



■設置費用は概ね400万円くらい。
2箇所設置でバーベキュー広場にも設置し、安く見積もって、概ね1,000万円くらいと予想する。

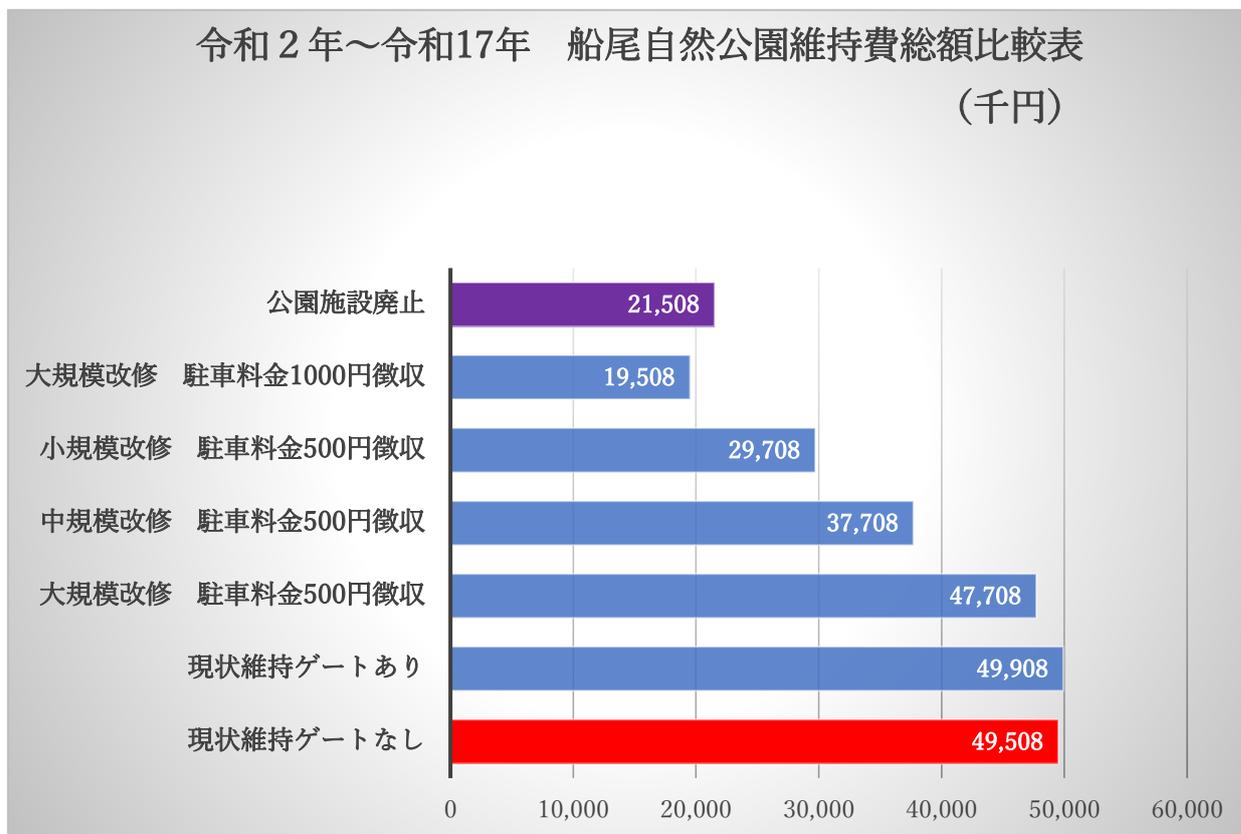
【施設閉鎖ゲート】

★他の自治体の公共施設の有料化について

都市部・農村部を問わず、全国的に利用者の受益者負担を求めて、役所駐車場や、公園駐車場、体育施設などの有料化が進められている。

募金・協力金（企業協賛金など）・施設利用料などの手法があるが、人件費が掛らず、施設の安全管理も可能な、駐車場料金の徴収が現実的である。

令和2年～令和17年 船尾自然公園維持費総額比較表
(千円)



■以下の部分について、目算にて金額を計上しているため、目安にすること。

おんべこおり橋の撤去費：200万円

おんべこおり橋の改修：大～中規模改修：(3000万円～2000万円)の改修工事内に計上
ゲートの設置工事費：1,000万円を計上

ゲートを設置した場合は、バーベキュー広場管理業務委託を見直せるので、トイレの清掃の業務委託とする。

駐車場の利用は、年4,700台で計算している。

○令和2年～15年間の総費用を比較すると、3,000万円規模の施設改修を実施しても、駐車料金を500円徴収すれば、現状維持よりも**180万円程度の経費が圧縮できる**。

4. 施設改修の優先順位 令和6年度までに、危険な施設を撤去または、改修を実施したい。また、同様の観光施設に関する調査研究や町としての方針が決まり次第、上野原自治会と周辺観光施設の経営者・観光部局・議会・伊香保観光協会などと、検討委員会を開催したほうが良いと思われる。災害が起こっても持続可能で、美しい船尾自然公園を維持していくためには、利用料の徴収も有効な手段である。ただし、現状の無料で、高齢～幼児まで楽しめる現在の公園も**自然ゆたかで快適な環境づくりや町内外観光客を誘致する、観光資源化を目的に適合しており、予算に配慮しながら今後15年単位で長期的な判断をする必要がある**。

吉岡町船尾自然公園個別施設計画

5. 対策内容と実施時期

2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	危険施設の撤去							
		方針の決定						
				方針に沿った施設の改修・撤去				

施設の点検は、林道とバーベキュー広場管理を担当しているため、1か月に8回は、自然公園で実施している。また、例えば、おんべこおり橋の改修目的のクラウドファンディングを実施するなど、他に予算を集める方法もあり、駐車料金収入を目的とするのであれば、駐車場を拡大整備などが発生するため、不確定要素が多数あり、その都度、臨機応変な対応が必要となる。

6. 対策費用（～令和17年まで） (千円)

①遊休化した施設を撤去しつつ現状維持する	【ゲートなし】	49,508円
	【ゲートあり】	49,908円
②利用者から利用料金を徴収し維持管理をする	【改修額3,000万円規模】	75,908円
	【改修額2,000万円規模】	65,908円
	【改修額1,000万円規模】	57,908円
③公園施設を廃止する		21,508円

上記を15年で割り1年単位の費用を算出すると (千円)

①遊休化した施設を撤去しつつ現状維持する	【ゲートなし】	3,300円
	【ゲートあり】	3,328円
②利用者から利用料金を徴収し維持管理をする	【改修額3,000万円規模】	5,061円
	【改修額2,000万円規模】	4,394円
	【改修額1,000万円規模】	3,861円
③公園施設を廃止する		1,434円